

令和5年2月三田市教育委員会定例会会議録

○開催日及び場所

令和5年2月22日（水）午後2時00分開会
午後3時21分閉会
三田市役所 南分館 601会議室

○議事日程

日程第1 開会
日程第2 前回会議録の報告、承認
日程第3 会議録署名委員指名
日程第4 会期の決定
日程第5 教育長の報告
日程第6 議事 議案第3号から第5号
日程第7 報告事項 報告第2号から第4号
日程第8 その他

○会議に出席した委員（5名）

1番	鹿嶽昌功	2番	大野裕己
3番	中上之仁	4番	中野文雄
5番	三木尚美		

○説明のため出席した者（10名）

学校教育部長	松下 修	学校教育部次長	浅野晋司
学校再編担当次長	外岡明文	教育総務課長	井上尚博
学校再編課長	上野 樹	学校教育課長	田中仁朗
教育支援課長	市原 敦	教育研修所長	小山恵介
学校給食課長	廣瀬敏彦	幼児教育振興課長	藤田崇宏

○代表学校長（2名）

中学校校長会代表	谷本正弘
小学校校長会代表	福井博行

○会議に関係した事務局員（2名）

教育総務課	靱井清陽
	清家梨奈子

○会議録署名委員

教 育 長 鹿 嶽 昌 功

教 育 委 員 中 野 文 雄

日程第1 開 会

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ただいまから令和5年2月第289回三田市教育委員会定例会を開会いたします。

本日、日程第6の議案第5号「令和4年度一般会計3月補正教育予算案に関する教育委員会の意見の申し出について」は、未確定の情報等を含んでいるため、非公開とし、全ての議事・報告が終了した後に審議したいと思いますがいかがでしょうか。

○教育委員

《異議なし》

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それではそのようにさせていただきます。
資料は後ほどお配りいたします。

日程第2 前回会議録の報告、承認

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは前回会議録の報告を事務局よりお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

(令和5年1月26日教育委員会定例会会議録により説明)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ご質問等ございませんでしょうか。
なければ、このように承認させていただきます。

日程第3 会議録署名委員指名

○教育長

それでは、会議録署名委員指名に移ります。

(鹿嶽 昌功)

会議録署名委員は、4番 中野文雄 委員にお願いします。

日程第4 会期の決定

○教育長
(鹿嶽 昌功)

会期は本日一日、令和5年2月22日水曜日午後2時00分開会といたします。

日程第5 教育長の報告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

2月後半に入り、本当に寒かった今年の冬、昨日も雪でした。三寒四温と徐々に春に近づいているといった感じですが。心配していた子どもたちの新型コロナウイルス感染も落ち着いてきたように思います。

ご承知のとおり、1月27日に開催された政府の新型コロナウイルス感染症対策本部において、来年度ゴールデンウィーク明けの5月8日から、現在のコロナウイルスの位置づけを2類相当から5類感染症に位置づけることが決定されました。また、2月10日の政府の対策本部において、感染対策としてのマスク着用については、来月3月13日から屋内外を問わずマスク着用を求めず、個人の判断に委ねることとしました。ただ、学校におけるマスク着用の考え方は、今学期3月31日までは従来どおりとし、来学期4月1日以降は教育活動実施に当たってマスク着用を求めないことを基本とする通知がありました。

また、これまで何度か取り上げられていました今年度の卒業式ですが、卒業式・卒業証書授与式に限っては式典の入場から退場まで、児童生徒、教職員のマスク着用を求めないことの通知があり、それに基づき三田市としても、今回の小中学校の卒業式の取扱いについて、先週各学校へ改めて通知させていただきました。来賓については、新型コロナウイルス感染症対策時と同様お招きいたしません、マスク着用を求めない卒業式が出来るようになったことはうれしいことであり、来年度の入学式についての対応も、国等の通知も含めて早急に決定していきたいと思っています。

それでは、前回1月26日以降の活動について報告いたします。

1) 阪神7市1町教育長協議会(1/30)

本年度 2 回目の阪神 7 市 1 町の教育長協議会が伊丹市で開催されました。

議題は 3 点ございました。1 点目は社会教育関係の施策の市長部局への事務移管についてです。三田市はすでに平成 20 年度から市長部局に移管され、現状では教育委員会は学校教育一本を所管しています。阪神間でも移管が検討され、それに伴う課題等について協議がありました。三田市としては、生涯教育を始め、生きがいづくり、健康づくり、学び直しによる豊かな人生、生活づくりといった、もはやまちづくりと一体的に進める分野として 15 年前から取り組んでまいりました。それぞれの取組の中で課題を解決するようにしており、学校教育との連携が必要な部分や移管することでの課題もございましたが、市の組織としての相互の連携として解決するようにしていると答えてきました。

2 点目は、高校入試選抜の調査書における評定についてです。芦屋市を除く第二学区の各市町で、評定の算出方法が異なっていることにより公平性を欠くのではないかといった協議でした。これまでの各市町の方針もあり、阪神 7 市 1 町のみで統一というより、第一学区の芦屋市や、神戸や三木との隣接学区を持っている三田市、また丹波市、丹波篠山市にも関係することなので、阪神 7 市 1 町の教育長協議会として、県に対して課題の提示と統一した方針を示してもらうよう要請することとしました。

3 点目は、中学校部活動の地域移行です。阪神間では、来年度から具体的に特定部活についてモデル移行を行うところが多くあります。三田市としては、国の方向がその目標時期も柔軟になったことから、受け皿団体の整理も含めて、移行の仕組みを十分協議してから実施することとなっています。先行している市町の取組を大いに参考にさせていただき、三田市独自の移行を進めていきたいと思っています。

2) 兵庫県市町村教育委員会連合会第 2 回常任理事会(2/1)

2 月 1 日、県民会館で本年度 2 回目の兵庫県市町村教育委員会連合会が開催されました。

来年度の総会に向けて、会長の交代を含む役員改選や今年の事業報告と来年の事業計画等について協議しました。今年度は各市町から運営費の負担金を徴収しませんでしたでしたが、来年度はこれまでのルールに従い徴収する予定です。

これらを 5 月 25 日の総会に諮ることとします。当日は播磨町が会場となります。また、ご案内しますのでよろしくお願

いたします。

3) 令和4年度高校生議会(2/5)

2月5日の日曜日、本年度の高校生議会が、3年ぶりに三田市議会本会議場でリアルな形で実施されました。ひまわり特別支援学校高等部の生徒を含め市内公私立の高校から16名の質問議員と2名の議長合わせ計18名が参加しました。

教育委員会には、『教育で街を活性化－「公の塾」が創る三田市の新しいカタチー』という質問がありました。少子化対策として教育費負担の軽減を図る意味で、誰もが経済的負担なしに学校以外でも学習できる「公の塾」を創ることで、子どもたちの学力向上とともに、子育て世帯が住みやすいまちとしてアピールできるという質問でした。

現在、三田市で実施している放課後等の「がんばり学びタイム」の説明や、放課後子ども教室での学習支援について答弁いたしました。特に、義務教育以降の高校生に対する支援が中心の質問でしたが、いま日本で重点課題として取り組もうとされている少子化対策の動向もあります。このような子育てに対する経済的支援は、各市町がその財源の中で実施を検討するのではなく、国や県といったレベルで実施すべき対策であるとも答弁いたしました。

3年ぶりのリアルな形での高校生議会でしたが、それぞれ高校生の視点からよく質問を検討されていました。これからも様々な課題に注目し、自ら解決に向けてその方策を検討していったほしいと思います。

4) 第3回生徒指導等問題対策委員会(2/6)

本年度3回目の生徒指導等問題対策委員会を2月6日の夜開催し、本年度作成を進めています三田市の「生徒指導リーフレット」について協議しました。

昨年12月は国の「生徒指導提要」が改定されたところであり、この改定を見据えて作成してきましたが、細部にわたってご意見をいただきました。それらの修正を進めながら次回4回目で確定させていきたいと思っています。

5) 令和5年度予算案の発表(2/13)

2月13日に三田市の令和5年度予算案の発表がありました。総額としては一般会計で1.9%増の426億円弱、特別会計・企業会計合わせた全会計では2.1%増で858億円弱とこれまでで最も大きな規模となりました。

教育委員会関係予算としては、特に深刻化しております不登校対策、小学校の体力アップと水泳指導の見直し、部活動地域移行と部活動指導員の確保、物価高騰に対する学校給食費保護者負担への支援、また、上野台・八景中学校統合に伴う新設校候補地の調査費など、新規拡充事業として計画していた内容がほぼ展開できる予算となったと思っています。詳細については事務局より後ほど説明いたします。

6) 富士・弥生小学校再編地域協議会(2/13)

2月13日夕刻から、フラワータウン市民センターにおいて、富士・弥生小学校再編地域協議会の1回目の全体会を開催しました。両小学校区から保護者や、地域等の代表に委員として参加いただき、小学校再編の協議のスタートとなりました。

当日は、委員紹介と協議会の位置づけや役割、富士・弥生小学校の今後の課題などについて説明させていただき、そのうえで両校の学校再編について、教育委員会としての案や考え方をお示ししました。

富士と弥生の両小学校を校区として持つ新しい小学校は、現在の富士小学校の施設を活用して創る方向で予定していますが、実際に小学校の場所が変わる弥生小学校の皆さんにとっては、これまでの歴史を考えると寂しい想いを持たれると思います。ただ、子どもたちの学びの環境として、どのようなものが必要かを中心に考えていただき、今後両小学校ごとの部会として、保護者や地域への影響、また課題等を含めてご意見をいただきたいと思います。今後も、保護者や地域の皆さんへの丁寧な説明も含めて、地域協議会での議論を重ねていきたいと思っています。

早速、今週の月曜日と火曜日に両校での部会をそれぞれ開催しご意見等をいただいたところです。

また、協議の経過等もご報告させていただきます。

7) トライやる・ウィーク推進協議会(2/17)

本年度、3年ぶりに市内各事業所の皆さんに中学2年生がお世話になりました。週5日間の社会体験活動を行ったトライやる・ウィークの活動について、受け入れ側の事業者や支援いただきました関係団体の皆さんで構成する「トライやる・ウィーク推進協議会」を2月17日に開催し、今年度の報告や課題の整理、来年度に向けた方向性や方針の協議をいただきました。

3年ぶりに通常通り実施され、また、コロナ禍においては受け入れ事業所の数が少なくなりましたが、生徒と保護者、事業所それぞれからのアンケート結果をもとに意見交換させていただきました。多くのご意見をいただき、有意義な会になったと思っています。いただいたご意見を参考に、子どもたちにとってより良いトライやる・ウィークとなるよう取り組んでいきたいと思っています。

8) 3月議会開会(2/17)

2月17日に新年度予算案件、新年度施策の展開を中心として審議いただく3月定例会が開会しました。会期は3月28日までの40日間です。各会派代表による一般質問と、新年度予算を中心とした予算決算常任委員会での審議が予定されています。教育委員会としての条例や事件決議の案件はありませんが、一般質問もあると考えております。また、新年度予算審議についても丁寧に対応していきたいと思っています。

3学期も残り1ヶ月です。中学校では3月10日の高校入試に向けて大詰めを迎えます。小・中学校、特別支援学校にあっては人事異動もありますが、3学期、そして1年間のまとめとともに、新年度に向けた準備をお願いしたいと思っています。

私からは以上です。

日程第6 議 事

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは本日の議事に入ります。

(1)教育委員会規則及び教育委員会規程の制定又は改廃を行うことについて

【三田市教育委員会事務委任規則第1条第11号関係】

議案第3号「三田市学校運営協議会規則の制定について」事務局から説明をお願いいたします。

○学校教育課長
(田中 仁朗)

議案第3号「三田市学校運営協議会規則の制定について」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。

○教育委員
(大野 裕己)

協議会の委員については第8条第2項によると学校関係者内外で定められていますが、人数構成等どのように運用していくのですか。

○学校教育課長
(田中 仁朗)

委員につきまして10名さまざまな立場の方から意見をいただきたくバランスよく構成されるよう任命し、学校長に承認いただきます。

○教育委員
(大野 裕己)

わかりました。ありがとうございました。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他に何かご意見等ございますか。

○教育委員
(中野 文雄)

これまでは「三田型のコミュニティ・スクール」として実績を積み上げてきたと思います。学校として取組の成果を地域へ広げていくことで、地域と学校が協働し、開かれた学校を作ってきたと思いますが、新しい「法に基づくコミュニティ・スクール」になると、人事のことや校長の教育方針等、すべて協議会の承認を得ることとなっています。そうになると、やはり現状の学校現場で実施されていることとズレが生じるとと思いますが、移行するにあたり4月以降どのように進めていく予定ですか。

これまでの学校評議員制と変わらないようでは意味がないように思いますので、どのような方向性で進めていくのか教えていただけますか。

○学校教育課長
(田中 仁朗)

これまでの「三田型コミュニティ・スクール」で培ってきた実績をもとに更なる発展をと考えています。委員の皆さまからより良い学校にするためのさまざまな意見をいただき、学校長が学校運営に反映していけるように進めていかなければならないと思います。

教育委員会としましても各学校へ丁寧に説明をさせていただいております。また、高平小学校と八景中学校が先行実施を

進めており、来年度はその成果をまとめたものを反映させていく予定です。

○教育委員
(中野 文雄)

委員の方には、今回移行することでメリットになる部分をしっかり伝えていただき、今までとの違いをきちんと理解して進めていただくことが大事だと思います。学校への指導だけでなく、任命される委員の方へも役割等についてより丁寧に説明をお願いします。

○教育委員
(三木 尚美)

令和5年度から一斉移行に向けて、これまで「三田型コミュニティ・スクール」で担ってきたものを基に、さらにより良いものにするためにも、規則にあります趣旨と基本理念はとても大事になると思います。それぞれが目的意識を持って、さまざまな情報も共有しながら協力して進めていただけたらと思います。

特に、学校運営については、校長先生の運営方針に従いながら、保護者や地域住民の方々の協力が必要不可欠となりますので、協議会委員の方だけでなく、広くみんなで情報を共有し良い学校づくりに取り組んでいただけたらと思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

今後コミュニティ・スクールをどのように進めていくかというのは大きな課題だと考えています。阪神間では伊丹市がすでに「法に基づくコミュニティ・スクール」を進めている中で、研修等で色々のご意見も聞かせていただきました。今の流れとして、これまでどおり学校が周りの方々から支援してもらうだけではなく、学校も地域へお返しする取組が必要になるということです。決められた組織の中で方針に基づき、学校への支援、学校から地域への支援という方向で進めていかなければならないと考えています。

すでに先行実施していただいている高平小学校と八景中学校からも課題等伺い、それらを参考にしていけたらと思います。4月からは一斉移行となりますが、最初から完全な形を作れるものではないので、学校長や協議会委員の皆さんの意見も共有しながら新たな取組として進めていきたいと思っています。

特に、人事に対して意見することについては、規則の中にも特定の個人に関する意見は除くものと記載がありますので、

ここにある規則に沿って進めていきます。

○教育委員
(中野 文雄)

より良い学校にするには、この「法に基づくコミュニティ・スクール」をどのように活用すればいいのかという視点が大事になると思います。これまで「三田型コミュニティ・スクール」で取り組んできた成果と課題があると思います。各学校はそれらをきちんと整理した上で、それぞれの学校が設置されている地域の特色も踏まえて考えていかなければならないと思いますので、学校側はしっかりと先の見通しを立てていくことが大事になると思います。子どもを真ん中に据え、学校と地域の双方がWIN-WINの関係であることが理想的であり、機能的、効果的に運用することで、とても魅力的な学校運営が実現できるのではないかと期待しています。

○教育委員
(大野 裕己)

規則第9条にあるように、同一委員は連続5年を超えて任命しないよう原則を設けることで、さまざまな委員から幅広い意見が反映されることにつながると思います。他方、地域の方々々が役割を理解し、「熟議」の本質に即した意見をするのは当面難しい部分もあることと思いますので、規則第7条にありますように、協議会が常に協議結果等の情報を発信し広く情報提供を行うことが大事になると考えます。そうすることで、新しく任命される委員の方が協議会へ入りやすくなると思います。また、規則第15条にある研修規程等も定められていますので、これらの条項が空文化しないよう、今後に関わっていただく方にしっかり情報が提供されることに期待したいと思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他に何かご意見やご質問等ございますか。
ないようでしたらこのように承認いたします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして、
議案第4号「三田市立学校管理及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について」事務局から説明をお願いいたします。

○学校教育課長
(田中 仁朗)

議案第4号「三田市立学校管理及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。
なければこのように承認します。
次の議案第5号につきましては、冒頭で申し上げましたとおり非公開となりますので後ほど審議いたします。

日程第7 報 告 事 項

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして報告事項に移ります。
報告第2号「令和5年度公立幼稚園の園児数見込について」事務局より説明をお願いします。

○幼児教育振興課長
(藤田 崇宏)

報告第2号「令和5年度公立幼稚園の園児数見込について」事務局より説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
何かご意見、ご質問等ございますか。
なければこのように報告します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

報告第3号「令和5年度当初予算の概要について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

報告第3号「令和5年度当初予算の概要について」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。令和5年度予算について新規拡充を中心にご説明させていただきました。
特に、P.23の新規事業の不登校等対策事業について3つあげていますが、あすなろ～e-school～とは仮想空間を用いた学習となります。児童や生徒がそれぞれアバターで仮想空間内の教室に入り、コミュニケーションを深めながら、ゆく

ゆくは仮想から現実へとスムーズに進んでいけるように取り組むというものです。295万円の事業費は、ほとんどがアバターとなって仮想空間に配置される先生の人件費となります。おそらく兵庫県下では初の試みだと思います。

P.24の水泳授業のモデル実施は、三輪小学校の水泳授業を事業費283万円をかけて、隣接する民間のスポーツ施設にお任せするものです。金額は大きいですが、実際に学校にプールを作るとなると約1億5千万円の経費がかかります。また、維持管理や毎年プール指導の水道代、薬品代、点検代等も含め、総合的に考えながら夏場だけの水泳指導であれば民間の施設へ委託し、子どもたちは専門の指導員から学ぶという方向で進めていくということです。合わせて、小規模校については合同で水泳の授業を行います。いずれもモデル事業になりますが、ひとまず令和5年度はこのように進めてまいります。

以上、新年度の予算の中で特徴的なものについて2点ご説明しました。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご意見、ご質問等ございますか。
ないようでしたらこのように報告いたします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

報告第4号「3月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

報告第4号「3月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。
なければこのように進めてまいりますので、3月もよろしくをお願いします。

日程第8 その他 の 報 告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

では、次回、3月の教育委員会定例会の日程について事務局からお願いいたします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

3月教育委員会定例会の開催日時は令和5年3月23日
(木)午後2時00分から、南分館601会議室で予定して
おります。よろしくお願いたします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、各校長からの報告です。
では、まず中学校代表校長より報告をお願いいたします。

○中学校校長代表
(谷本 正弘)

○生徒の活躍について
中学校の方から、嬉しい報告を2つさせていただきます。結果として、本校の話題になりますが、お許してください。1つ目は、2月18日に行われました第21回兵庫県中学校新人駅伝競走大会で、本校の陸上競技部男子が8位入賞を果たしました。2つ目は、本校の卒業生が、この春の選抜高校野球大会に出場が決まりました。レギュラーで活躍していますので、ぜひ注目をいただき、応援をお願いします。

○2学期の学校活動について
2月18日から3日間、美術科の教員が中心になりまして、ウディタウン市民センターで「三田市中学校美術作品展」を開催しました。各学校、各学年の代表作品が出展され、保護者や市民の皆様にも大変喜んでいただきました。
次に、中学3年生は緊張の中、私立高校や国立高校、高専、公立高校推薦・特色選抜、特別支援学校高等部入試などを無事終えましたことを報告いたします。本校では、本日、3年生の学年末テストも終わり、いよいよ3月9日の卒業式まで2週間となりました。翌日10日には公立高校一般入試もありますので気を抜くことはできませんが、球技大会をしたり、式練習をしたりして、3年間のまとめをする時期となります。是非この時期に様々な方のお陰に感謝する日々を過ごしてほしいと願っています。3年間、感染拡大の波を何度も乗り越え、嬉しいことも悲しいことも一緒に経験してきた3年生です。我慢の日々が続きましたが、できる方法を考えて一生懸命取り組んでくれました3年生です。頑張りました3年生のためにも良い卒業式にしたいと思っています。

○卒業式、修了式について

この度、卒業式について新たな通知が出ました。この通知に基づきまして、マスクの取り扱いや保護者の出席人数を見直しました。本校では、「生徒1名につき保護者1名の出席」としていましたが、通知を受けまして「各家庭2名以内の出席」と改めました。より多くの保護者の皆様に生徒たちの晴れ姿を見ていただこうと思っています。

1・2年生は修了式まで1ヶ月となりました。学年末テストを3月初めまでに各校で実施をします。意欲をもって進級できるように指導してまいります。今後ともご指導ご支援をよろしくお願いいたします。

○小学校校長代表
(福井 博行)

○2学期学校行事について

新型コロナウイルス感染症がようやく減少傾向にあるようですが、インフルエンザの流行があり、まだまだ予断を許しません。早く平時を取り戻したいと願いつつ、今年度もあとひと月と少しになりました。コロナ禍の3年間で、今年度は通常に近い教育活動ができた嬉しく思っています。特に2泊3日の自然学校実施は、喜ばしいことでした。校外学習も充実し思い出いっぱいの1年でした。また、学校支援ボランティア活動も活発にできた年でした。

各小学校では、2月下旬から3月上旬にかけて、最高学年として学校生活の多くの場面や行事でリーダーシップを発揮してくれた6年生に対して、在校生が感謝の気持ちを伝え、卒業を祝う「6年生を送る会」が開催されます。また、地域の方々に感謝の意を伝える「ありがとう集会」も行われます。大規模校の中には、全校生が一ヶ所に集まれないところもありますが、5年生が中心となって実施方法や内容を工夫し、例年以上に感謝の気持ちとお祝いの気持ちがこもった時間になるように計画や準備が進んでいると聞いています。

○学校評価について

この2月は、今年度一年間の学校運営や教育課程の取組を振り返る学校評価を行っています。教職員による評価や保護者の評価、学校関係者評価等をもとに、成果と課題を明らかにしていきます。感染症対策と学びの保障を両立し、工夫して実施してきた今年度の教育活動を検証することで、従来の学校運営や教育課程から発展した学校運営や教育課程を編成することにつなげたいと前向きにとらえています。

感染症対策を確実に行うとともに、子どもたちが今年度をし

っかり締めくくり、次の学年、次のステージに向けて「夢と希望」を持って4月を迎えられるよう、あとひと月精一杯取り組んでいきたいと思えます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。

それでは引き続き議案第5号の審議に入ります。ここからは非公開事案となりますので事務局関係者以外のご退室をお願いいたします。

《事務局関係者以外退室》

《非公開審議》

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは以上をもちまして教育委員会定例会を閉会いたします。